

きゅうしゅう

No.15

編集・発行 九州防衛局 総務部
福岡市博多区博多駅東2丁目10-7
福岡第2合同庁舎内 TEL092-483-8811

★大村市

目次

- 1 海上自衛隊大村航空基地 第22航空群
- 2 自治体紹介 ～長崎県大村市～
- 3 周辺対策事業紹介 ～九州防衛局～
- 4 インフォメーション

大村公園
玖島城跡と花菖蒲

新年の
初飛行訓練



大村湾上空を飛行する
SH-60J/KとUH-60J



大村航空基地の沿革

- 大正11年12月 大村海軍航空隊開隊
- 昭和16年10月 第21海軍航空隊開隊
- 31年12月 海上自衛隊大村航空隊新編
- 42年 3月 ヘリコプター(HSS-1N)配備
- 62年12月 第22航空群新編
- 平成 4年 5月 ヘリコプター(SH-60J)配備
- 19年 7月 ヘリコプター(SH-60K)配備
- 20年 3月 ヘリコプター(UH-60J)配備



第22航空群庁舎



1

海上自衛隊大村航空基地 第22航空群

群司令挨拶



第22航空群司令 渡邊海将補
(平成22年7月26日着任)

第22航空群は、隷下部隊全体でヘリコプター約45機を擁し、陸上基地から、あるいは、護衛艦にヘリコプターを搭載して艦上から飛行し、様々な任務、訓練を実施しています。

とりわけ、近年の海洋権益、領有権をめぐる問題等、我が国周辺海域の安全保障環境は複雑化する中、平素から周辺海域の警戒監視にあたりとともに、国民生活と経済の生命線である海上交通を脅かす海賊から船舶を保護するため、護衛艦とともに、遠く北アフリカのソマリア沖・アデン湾まで展開し、海賊対処活動を継続中です。また、離島からの急患輸送、大規模災害対処等、昼夜を問わず、多様な任務を遂行しています。

航空部隊というと、=(イコール)パイロット...というようなイメージがあるかもしれませんが、航空基地にはいろいろな仕事があります。もちろん航空機に乗り組む搭乗員もいますが、航空機を整備する整備員、管制塔で航空機をコントロールする航空管制員、化学消防車を駆る地上救難員、気象員、通信員、その他、施設、車両、厚生、経理、衛生、補給等々、様々な仕事があり、これらの隊員の力全体で航空部隊の任務が支えられています。

複雑かつ多様な事態の中、国益と国の誇りを守り、また、国民の皆様の安全と安心につなげるため、隊員一同、一丸となって、あらゆる任務に即応できる態勢を築いていく所存ですので、今後とも皆様の温かいご理解とご支援を頂ければと思います。



第22航空群 スコードロン・マーク

第22航空群隷下部隊は、大村航空基地(長崎県大村市)、小松島航空基地(徳島県小松島市)、徳島航空基地(徳島県徳島市)、鹿屋航空基地(鹿児島県鹿屋市)に所在し、哨戒ヘリコプター部隊、救難・輸送ヘリコプター部隊、航空機整備・補給を担当する部隊、基地施設の維持管理など後方支援を担当する部隊から編制されており、平成20年3月の部隊改編により現在の組織編制となりました。同群は、主として護衛艦にヘリコプターを搭載「動的防衛力」の一環として、周辺海域の防衛や海上交通の安全確保に従事するとともに、災害派遣活動等を通じて、国民の安全と安心を守るために日夜活躍しています。

部隊識別マークは、光り輝く稲妻の中を飛翔する2頭の龍をイメージしており、長崎の伝統芸能である龍踊りと部隊の数字「22」を表しています。



部隊紹介

第22航空隊

哨戒ヘリコプター（SH-60J、SH-60K）を装備し、主に佐世保及び呉を母港とする護衛艦に搭載し、機動的に運用され、平素からの警戒監視、周辺海域の防衛や海上交通の安全確保等に従事しています。また、災害発生時における捜索救助などの災害派遣業務も行っています。



護衛艦「ゆうだち」とSH-60J



護衛艦「ゆうだち」から発艦するSH-60J

第24航空隊

哨戒ヘリコプター（SH-60J）を装備し、徳島県小松島市の小松島航空基地に司令部を置いています。主に呉を母港とする護衛艦に搭載し、機動的に運用され、平素からの警戒監視、周辺海域の防衛や海上交通の安全確保等に従事しています。また、災害発生時における捜索救助などの災害派遣業務も行っています。



大鳴門橋上空を飛行するSH-60J



初飛行で基地周辺を飛行するSH-60J

第72航空隊

救難ヘリコプター（UH-60J）を装備し、大村航空基地に本隊が、また、鹿屋航空基地（鹿児島県鹿屋市）と徳島航空基地（徳島県徳島市）に分遣隊があります。遭難した航空機の捜索・救助や、陸上基地と洋上航行中の護衛艦等との間の輸送を任務としています。また、県知事等の要請により、離島からの緊急患者輸送などの災害派遣活動も行っています。



担架を機内に収容する救助隊員



UH-60Jから降下訓練中の救助隊員

第22整備補給隊

航空機（SH-60J、SH-60K、UH-60J）の整備、航空機搭載用の電子機器及び武器などの整備、各訓練装置及び航空保安施設の整備、また、基地業務全般の補給業務を任務としています。



魚雷搭載作業



整備作業中のUH-60J

大村航空基地隊

大村航空基地所在部隊の任務遂行能力維持のため、基地施設の管理、基地警備、航空管制、気象ブリーフィング、地上救難、隊員の福利厚生などの後方支援業務を行っています。



航空機管制を行う隊員



正門を警備する隊員



火災を起こしたヘリの搭乗員救助訓練

活動紹介

ソマリア沖アデン湾における海賊対処活動

アデン湾を護衛船団が航行する際には、船団の前後を護衛艦が守り、護衛艦搭載の哨戒ヘリコプターも上空から船団の周囲を監視している。大村航空基地から6月15日に第9次水上部隊として派遣された2機の哨戒ヘリは現在もアデン湾で活動中。



ソマリア沖を航行する護衛艦



護衛艦「さざなみ」を発艦するSH-60K



ソマリア沖アデン湾で商船を護衛する護衛艦

東日本大震災における災害派遣活動

大村、鹿屋、小松島、徳島の各航空基地からヘリコプターや隊員が護衛艦に乗り組み、あるいは、現地に近い航空基地に展開し、被災地で捜索、救助、物資輸送などを行った。



災害派遣で準備を行うUH-60J (救難輸送ヘリ)



偵察飛行中に発見



◀北上川長面地区 孤立した人をヘリで救助

▼道路に着陸するSH-60J



被災地に着陸するSH-60J



浦戸第2小学校グラウンドに着陸し物資を降ろす隊員

海上自衛隊派遣規模

- ・艦艇：約50隻
- ・航空機：約100機
- ・人員：約15,000名

第22航空群

護衛艦搭載及び大湊・八戸・館山基地展開

- ・航空機：最大15機
- SH-60J/K 7機
- UH-60J 8機
- ・人員：約200名

災害派遣活動

医療施設が不足している離島などの急患輸送や、海上事故、自然災害などにおいてヘリコプターを使い、空輸や捜索・救助活動などを行っている。



転覆漁船からの救助



グラウンドに着陸し、患者を救急隊員へ引き継いでいるところ



UH-60Jから降下訓練をする救助隊員

大村航空基地の行事

開隊記念日行事



例年5月に行い、基地を一般開放。今年は東日本大震災災害派遣のため中止となった。

3部隊合同納涼盆踊り



大村市所在の陸自・大村駐屯地、竹松駐屯地、海自・大村航空基地合同で地元の方々とともに開催。今年は8月7日に竹松駐屯地で実施した。

4部隊合同自衛隊記念日行事



大村市所在の3部隊及び空自・福江島分屯基地(五島市)が合同で実施。今年は11月に大村駐屯地で行われる予定で、駐屯地開放や市中パレードなどが計画されている。

クリスマス・コンサート



海自・佐世保音楽隊が12月9日、シーハット大村で開催予定。

大村航空基地の名物料理レシピ
「ビーフカレー」

メニュー

・ビーフカレー

・トッピング(コン、チーズ、福神漬、らっきょう漬)・生野菜盛り
 合わせ・海藻サラダ・ゆで卵・イカリンクフライ・マカロニカリントウ・フルーチェ(果物入り)・牛乳

レシピ (4人分)

牛中肉	160g
馬鈴薯	200g
玉葱	120g
人参	80g
カレーフレーク	80g
おろしにんにく	4g
生クリーム	20g
サラダ油	20g

スープストック

豚骨	100g
鶏骨	100g
セロリ	40g
にんにく	4g

隠し味

コーヒー・クチャップ・おろしにんにく・
 生クリーム・バター・ワイン・ハチミツ等

作り方

- ①スープストック(だし)を作る。
 ※材料を鍋に入れて煮込み、スープストックを作る。
- 下ごしらえ
 馬鈴薯は大きめの乱切り、人参・玉葱も小さめの乱切りにする。
- ②厚手の鍋にサラダ油を入れ、牛中肉を入れてよく焼き色をつける。
- ③玉葱を入れてしんなりしてきたら、人参を入れて炒め、最後に馬鈴薯を入れて炒める。その後、しばらく煮込む。具材がやわらかくなったら具と汁を別々に取り出す。
- ④厚手の鍋にサラダ油をしき、カレーフレーク(業務用のフレークタイプです)を入れてよく伸ばし、スープストックを徐々に加えていき、ルーを練っていく。^{※2}
- ⑤ルーがほどよい硬さになったら、具(牛中肉・馬鈴薯・人参・玉葱)を入れて煮込んで出来上がり。^{ここがポイント}

出来上がったら火を止め、いったん冷まし、再度温めてから食べる(一晩寝かせる)とさらに美味しいです。

※1 家庭(8皿分程度)で作れる際は、スープストックの代わりに野菜ジュース1缶+コンソメ1粒で代用できます。

※2 圓形のカレールーは具材が無くなった後、一旦火を止めて溶かし、きれいに溶けてから少々煮込みます。

※3 いったん冷ますことで具材に味が浸透し、おいしくなります。

隠し味はお好みでどうぞ(入れ過ぎると隠れませんよ(^_^))

その他
 キャベツ
 人参
 チャツネ
 ローリエ
 ホールトマト
 はちみつ等

2 自治体紹介

長崎県大村市

花と歴史に つつまれた
未来へ 羽ばたく
産業・交流都市



市長あいさつ

大村市長 松本 崇

大村市は、長崎県のほぼ中央部、長崎市と佐世保市の間に位置し、大村湾と多良山系に囲まれた都市です。市域面積は126.56km²、多良山系から大村湾に向かって流れる郡川が形成した扇状地に市街地が広がり、ここに約9万2千人の市民が生活しています。

「大村千年の歴史」と称される大村は、三城・玖島城を居城として中世から明治維新に至るまで、大村湾一帯を治めていた大村氏の城下町です。中でも第18代大村純忠は、日本初のキリシタン大名として長崎を開港し、1582年に天正遣欧少年使節をローマに派遣するなど日本の歴史上に名を馳せています。また、本市は、昭和27年に日本最初のモーターボートレースを開催し「競艇発祥の地」としても全国にその名を知られています。

世界初の本格的な海上空港である「長崎空港」のほか、高速自動車道長崎道を備え、九州新幹線西九州ルート新大村駅(仮称)の設置も決定するなど、高速交通網に恵まれた県央拠点都市として発展を続けています。

玖島城跡を中心に広がる大村公園は、本市のシンボリックな公園として親しまれ、春になれば桜が咲き誇り、中でも「オオムラザクラ」は60~200枚の花弁の八重桜で国の天然記念物に指定されています。桜が散るとツツジ、花菖蒲、アジサイと夏まで花が続き、多くの観光客で賑わいます。

大村市には、海上自衛隊大村航空基地、陸上自衛隊大村駐屯地、陸上自衛隊竹松駐屯地の3部隊が駐在し、日頃から安全・安心のまちづくりに貢献されています。夏の風物詩である「おおむら夏越まつり」をはじめ各種イベントにも積極的に参加されるなど、市勢の発展に大きくご尽力いただいています。

平成26年に開催される第69回国民体育大会では、3部隊の皆さんにもご協力いただきながら大会を成功に導きたいと考えています。今後とも、本市と自衛隊が築き上げてきた良好な関係を大切にして、より良いまちづくりを進めていきます。



1 長崎空港



3 大村公園 玖島城跡と花菖蒲



2 天正遣欧少年使節顕彰之像



4 おおむら夏越まつり・花火大会



①長崎空港

昭和50年(1975年)開港の世界で初めての本格的な海上空港。東京、大阪など国内各地へ、また離島へ、さらに上海などアジア各地へのアクセス拠点となっています。

②天正遣欧少年使節顕彰之像

戦国時代に、日本人で初めてヨーロッパを公式に訪問した4人の少年使節の銅像です。像は、向かって左から、伊東マンショ、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦ジュリアンの順に並んでいます。

③大村公園 玖島城跡と花菖蒲

大村公園は「全国さくら百選の地」に選定を受け、国指定の天然記念物 オオムラザクラをはじめ2000本の桜が公園一帯をピンク色に染め人々の目を楽しませます。

④おおむら夏越まつり・花火大会

8月1日~3日に行われる夏越まつりは、大村市内の全神社が大祓を行うもの。花火は圧巻。

3 周辺対策事業紹介

～九州防衛局～

防衛施設の周辺地域との調和を図るための施策

九州防衛局では、防衛施設（飛行場や演習場など）の周辺の方々の生活や事業への障害を防いだり、やわらげたりするため、法律に基づき、市町村等の行う事業に対して補助を行っています。具体的には、公園、消防施設、図書館などの施設や集出荷施設などの農業用施設や製氷施設といった漁業用施設などの整備事業に対して助成するなど様々な施策を実施しています。

当局は、大村市においては、屋外運動場、コミュニティ供用施設、消防施設などに対する助成を行っています。



【大村市郡地区のコミュニティ供用施設平成19年度完成】

構造・規模 延床面積約1200㎡、構造RC-2
事業費 約2億5千万円(内1億2千万円補助)

航空機騒音対策



海上自衛隊大村航空基地が隣接する長崎空港A滑走路地区は、国土交通省が設置・管理している長崎空港の一部ですが、昭和50年に旧運輸省が民間航空機の航空機騒音対策等のため沖合にB滑走路を設置し供用開始した以降は、主として海上自衛隊が使用しています。

防衛省としては、大村航空基地を安定的に使用するため、国土交通省から同滑走路地区を取得するとともに、住宅防音等の騒音対策を実施する予定です。

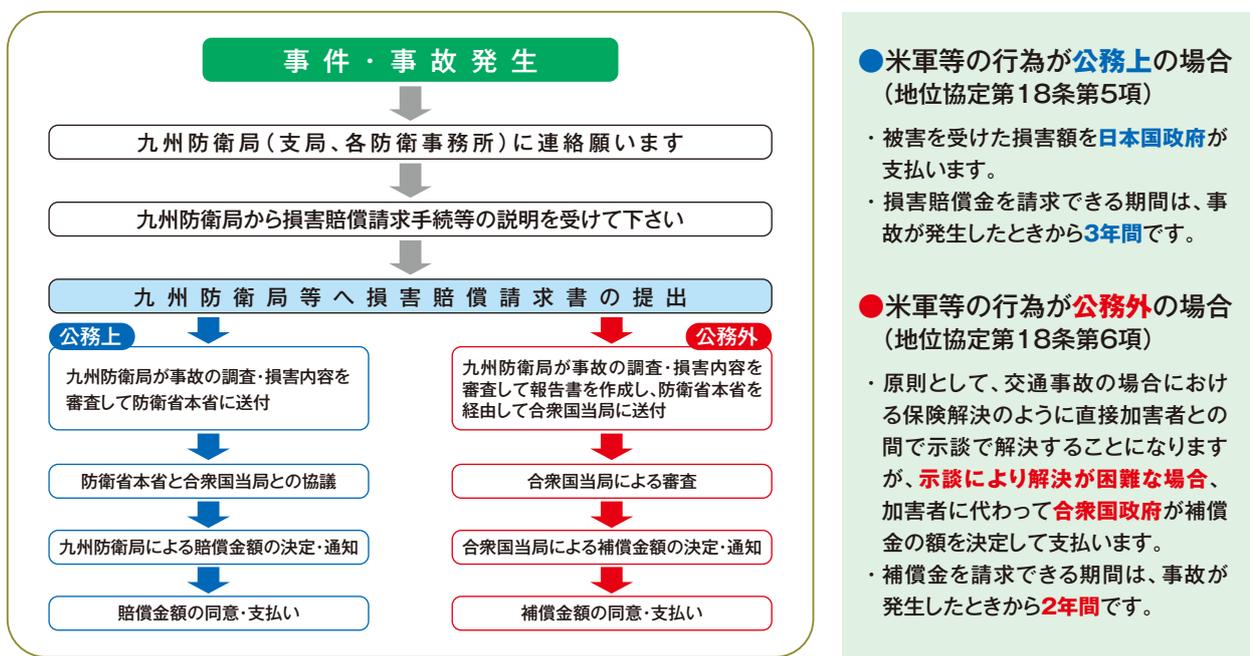
当局は、昨年度に同基地の航空機騒音の現状を把握するための調査を行い、現在、住宅防音工事を実施するために必要な、対象区域の指定に係る準備手続を進めているところです。

4 インフォメーション

九州防衛局では、米軍等の行為によって被害を受けた方々への損害賠償等の業務を行っています。

米軍等の行為に係る損害賠償手続き

日本国に駐留している米軍人・軍属の行為によって、国民の身体及び財産に被害を受けられた場合には、受けた損害について「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定」第18条の規定に基づき、損害賠償等を請求することができます。



問い合わせ先	九州防衛局	業務課事故補償係	福岡市博多区博多駅東2-10-7	092-483-8821
		当直室	(夜間・土日・祝日の連絡先)	092-483-8832
	熊本防衛支局	業務課業務第二係	熊本市東町1-1-11	096-368-2172
	小倉防衛事務所	業務課業務係	北九州市小倉北区大手町13-26	093-561-2434
	佐世保防衛事務所	業務課業務第二係	佐世保市木場田町2-19	0956-23-3157
	別府防衛事務所	業務係	別府市大字別府3051-1	0977-21-0215
	宮崎防衛事務所	業務係	宮崎市中村東1-2-29	0985-54-1658

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

(平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日)
(上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい)

夜間及び休日の連絡先
電話:(092)483-8832
FAX:(092)472-1959

編集後記

大村市には、キリシタン大名大村純忠、天正遣欧少年使節、長崎街道の大村宿と松原宿、旧日本海軍の戦闘機紫電改を生産した第21海軍航空廠などにまつわる史跡が多く残されています。11月には、大村市と五島市に所在する陸海空自衛隊の4部隊が大村市の陸自・竹松駐屯地で自衛隊記念日行事を合同で行う予定ですので、これを機に大村市を訪れ、歴史散策とともに5百年以上前から同地に伝わる大村寿司を味わっては如何でしょうか。